



# お か さくらの丘 だより

岸和田市立光明小学校 校長 笠川智香



修学旅行・・・11/17, 18(日, 月) 人・物・時間を大切に

平和セレモニー どうぞ安らかにお眠りください 二度と戦争は起こさせません

これから岸和田市立光明小学校「平和セレモニー」を始めます。多くのぎせいになられた方々のご冥福をお祈りし、世界中から戦争や核兵器がなくなることを願って、1 分間の黙祷を行います。

今から79年前の 1945年8月6日 午前8時15分たった一発の原子爆弾によって、きのこ雲の下には、まさに地獄のような光景が広がりました。ピカッと光った鋭い光。すさまじい爆風と熱線。ドーンという地響き 真っ暗闇の後に現れたのは、建物も草木もなくなったヒロシマの街 体中に深い火傷を負った人。炎の中で水を求めてさまよう人。

そして、ただ転がっているだけの人 人 人・・・。どれだけ悲惨な状況だったのかを想像するだけで胸が締め付けられるような気持ちになりました。その年、ヒロシマだけで14万人もの人が亡くなりました。それだけでなく、今も原爆の後遺症で苦しんでいる人が大勢います。原子爆弾は、二度と使ってはいけない兵器です。

平和とは、暖かい布団で眠れること。友だちと楽しく、お話ができること。家族でおいしいご飯を食べられること。学校でみんなと勉強ができること。そんな当たり前のことが、当たり前でなくなる戦争。私たちは、その戦争をこの世界からなくしていこうと考えました。

まず、けんかをやめて、解決を会話の中で見つけること。相手の気持ちを考えて言葉や行動を選ぶこと。誰かのために、みんなのために優しさを配ること。いろいろな国の人も話し、文化や伝統を理解し合うこと。今日までに学んだことを学校で下級生に伝えること。私たちにできることは、ほんの小さなことかもしれませんが、でも、一人ひとりにできる、小さな行動を積み重ねていきます。自分たちが学んだ平和への思いを、言葉で未来に伝えていきます。そして、命の大切さを感じながら精一杯生きていくことを誓います。

2024年 11月10日 岸和田市立光明小学校 六年生一同

ここに、私たち光明小学校 669名の平和への願いを込めた折り鶴をささげます。

今も残る戦争の傷跡を見学し、被爆された方のお話を聞いたことは、愚かな戦争の悲惨さを見つめ、そして、平和な今を十分に実感できたことでしょう。また、平和を求めて声を上げた。当時、6年生の皆さんと同世代のパキスタンの少女 マララさんが、史上最年少でノーベル平和賞を受賞したのは記憶に新しく、今も平和を求めてがんばる少女がこの地球上にいることも忘れないで欲しいと思います。

6年生の皆さんと一緒に修学旅行に行くことができた幸せ、あたりまえの中にある幸せを最終日の姫路セントラルパークで絶叫組もそうでない組も、共に6年間一緒に過ごした友達の良さを互いに認め合うことで、みんなが「楽しかったね」「良かったね」といえる最高の思い出となりました。笑顔で帰校できたこと、そして、これからの4か月、あなたたちを傍で支えてくださる保護者や先生方への感謝と礼儀を忘れず、学級・学年の輪を作り上げていってほしいと期待しています。



## 宝箱

被爆者の方の証言を聞く・・・真剣な姿

感動すら覚えたセレモニー



へいわのたねを世界中に



碑めぐり・・・班に分かれて



フェリーで宮島へ



平和公園でお弁当・・・  
昼食後、うっかり誰かが始末  
していなかったゴミを誰に  
言われるでもなく、黙々とひ  
ろっている仲間がいます。  
来た時よりも美しく  
美しい行動です



被爆樹木・・・アオギリ



セントラルパークにて・・・楽しむ力

ホテルでの班長会議



# へいわのたね

～ 平和公園にてセレモニー合唱曲  
6年生学年音楽会の合唱曲

- 1 まぶしいあさのひかり かぜにゆれるはなびら  
せせらぎにあそぶそら みどりたたえるまち

うつくしいぼくらのふるさとを かけがえのないへいわを  
にくしみや おそれが こわしてしまわぬように

へいわのたねを ちいさないのりを たいせつに そだてようよ  
ともしびを まもるように

このころに いのちいっぱい きぼうのはな ひらきますように

- 2 かがやくきみのえがお つないだてのぬくもり まごころはこぶことば  
ひびきあううたごえ

きみとめぐりあえたしあわせを とともにいきるよろこびを  
へんけんや いじめが なみだにかえないように

へいわのたねを ちいさなひかりを ひとりずつ ひろげようよ  
たからもの わけあうように

せかいじゅうに えがおいっぱい へいわのはな ひらきますように

やさしさでみんなをつなげるんだ あたらしいじだいのこどもたち

へいわのたねを ちいさないのりを たいせつに そだてようよ  
ともしびを まもるように

せかいじゅうに えがおいっぱい へいわのはな ひらきますように